

ポラリスを仰ぐ北の大地から



コロナ禍で変わった私の生活

まきの ひろき
空知南部医師会 会長 牧野 裕樹

ステイホーム：当然、家で過ごす時間が長くなりました。NETFLIXで流行りの韓国ドラマや映画を自宅で観て過ごしておりました。梨泰院クラス、イカゲームなどの話題作はかなり観ました。ジムに行くこともできないので運動不足解消にトレッドミルを買いました。NETFLIXやYouTubeを観ながら軽くランニングをして運動不足を解消しております。

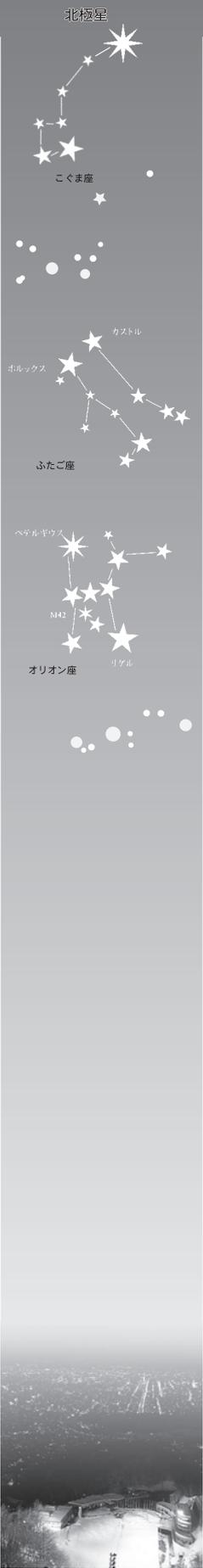
外食・宴会：外食の機会はほぼ無くなり、馴染みの居酒屋やレストランもすっかりご無沙汰してしまいました。今年春頃になり家族での外食は少しずつするようになりました。大学の同窓会や同門会忘年会は3年連続で中止が決まっております。まだまだ大規模な集まりができないのが残念です。

旅行：この3年は家族旅行もほぼ無し。海外旅行は夢の世界となってしまいました。今年になって久しぶりに飛行機に乗りましたが、N95マスクを着け、いつになく緊張して機内に乗り込みました。

キャッシュレス決済：現金を使うことが少なくなりました。小さなお店でもキャッシュレスが可能になってきております。財布から現金を出し入れしないのが楽になってきました。道内でもSuicaを使える自販機が増えることを望んでいます。

Web会議・Web講演会：Zoomなどを使い会議や講演会に参加ができるようになりました。対面での開催が望ましいのは明白ですが、遠隔地の講演会も参加が可能となるメリットもあるようです。友人たちとWeb飲み会もやってみました。アルコールが入ると当然声が大きくなり飛沫も飛びますが、Webなので安心です。Webでも飲み会は意外と楽しいことが分かりました。

そして第7波が始まりました。元の生活に戻るのはいつになるのでしょうか。



YouTubeのなかの故郷

ちゅうじょう としひろ
夕張市医師会 会長 中條 俊博

コロナ禍で、外食や宴席の機会が激減し、家の中でも快適に過ごすことができるコンテンツが世の中に溢れている。いわゆる「巣ごもり需要」と言われているが、かつてない規模で、業界は大きく業績を伸ばしている。とくに、フードデリバリー、ネット通販、ネットゲームなどのインターネット産業はその代表格である。現在では健康志向の高まりや行動変容そのものにより、ハイクオリティ化や差別化が進み、消費者の趣味趣向は大きく変貌している。そのような中、我が家でも、さまざまなコンテンツを利用できるサブスクを利用している。サブスクの中で、成長産業に位置付けられてきた動画ストーリーミング市場は、原油高や円安による消費抑制を背景に、世界中で増え続けてきた利用者数が減少に転じているようだが、少なくとも我が家に関して言えば、巣ごもり需要の受け皿として大きな役割を果たしている。Hulu、NETFLIX、Amazon Primeなど、居間のアンドロイドTVは日々、家族の占領下にあるため、私は止むを得ず、家族から隔離されるように、自室にこもり、PCでYouTubeを視聴している。

YouTubeは、ユーザーの趣味嗜好にあったものを次々に自動的に再生候補があがる。医療の他、ウクライナ、ロシア、中国、歴史、昭和、日本、北海道そして我がマチ「夕張」などが私のお気に入りである。ただ、残念ながら、我がマチは「廃墟」に関する動画ばかりが目立ち、訪れたことがない方にとっては、廃墟しかないマチと誤解するであろう。しかし、私自身も知らなかったり、訪れたことの無い場所も案内され新しく知ることもある。たとえば石炭産業が無くなっても、人口が減少しても、自然豊かな故郷は昔も現在も変わらず、訪れる人々を優しく迎え入れ、市民を温かく見守ってくれる。まだまだ暗い情報ばかりが先行しているが、いつの日か、溢れんばかりの明るい情報が我がマチのマイナスイメージを一気に払拭することに心から期待したい。